



今週のプログラム

- 第2487回(11/17)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝

- *卓話：松本啓祐ガバナー補佐
- テーマ「ロータリーの方向性」

次回のプログラム

- 第2488回(11/29)
- 会場 八王子エルシィ

*ガバナー公式訪問

特定健診とは



鳥羽正浩 会員

会員卓話「たかが健診、されど健診」

最初に特定健診とはどういう健診なのか、ということですが、もともとやられていた一般的な健康診断というものは、症状はないのだけれど、将来の重篤な疾患に結びついてしまうような病気、あるいは症状が出てから発見されたものではかなり遅いと考えられる、内科的な疾患を見つけることが主目的でした。厚生省が健診の内容の見直しをし、2008年度から特定健診と名前を変えて健診内容が変わりました。いわゆるメタボ健診です。対象は40歳以上75歳までの公的医療保険加入者全員です。先ほど小林先生から、八王子の国保の方は受けられる、社保の方はちょっと違うというお話がありましたが、一応八王子市内の医療機関では、契約を結

んでいけば、受けることは可能です。75歳以上の方はどうかといいますが、後期高齢者医療保険になりますので、後期高齢者健診として受けていただく。ただし、基本的には健診の内容は特定健診と何等変わるものはありません。特定健診という制度がスタートした背景、目的です。高年齢者人口の増加によって増大した、特に後期高齢者医療制度による財政負担を減らすということが主目的となります。厚生省の試算では受診率をあげて、十分な受診率を担保できれば、最大10%の財政負担を減らすという試算が出ており、それを目標に行っているわけです。その健診の内容は、特に生活習慣病、メタボリックシンドロームに対する対策それに特化した形になっています。それまでの一般健診では内科的な疾患を早期に見つけて、それが直接医療に結びつくという形だったんですけど、特定健診に変わりました。医療に結びつけるのではなくて、各々の生活改善、生活習慣の改善を促すというところに主目的が置かれました。これはなぜかというと、医療に直接つなげてしまうと、医療費がそこで発生して

しまうのです。生活習慣改善には全くお金がかかりませんので、お金のかからない時点で介入する。そして将来の時点での医療費を削減するというのが国庫の財政負担を減らすところにつながっていく。これが主目的になります。検査内容は、こちらにあげてありますが、既往歴、現病歴、喫煙習慣の問診です。それから自覚症状、他覚症状についての調査となります。それから身長、体重、腹囲を測定することになります。腹囲の話はまた後で出てきますが、多くのメタボリックシンドローム発見に使われます。身長と体重については、体重を身長²で割ったBMI、ボディマスインデックスを計測して、おおよそその肥満度の判定に用いられる。それから血圧の測定。血液検査以降の検査、アスタリスクのついていない検査については、生活習慣病とは関係がなく、生活習慣の改善で戻せないということで、国の方針からはすべて外されています。血液検査については、肝機能、γ-GTPが入っていて、先ほど福山会長がおっしゃいましたけど、1つはアルコール性の肝障害、脂肪肝などを見つけていきま

す。それから脂質代謝異常、糖尿病の検査、そして尿検査の方は、早期の腎機能障害を発見するための尿たんぱくと糖尿病を発見するための尿糖、国の方針としてはそこまでの検査とされています。それまでの検査で生活習慣病を見つけて改善しなさいという方針です。しかし、医療者がみな思っていることです。外されてしまった検査も非常に重要な検査が多いです。例えば腎機能の検査、クレアチニンの検査は大事な検査だと思いますし、貧血なども見ただけではわからないので、やっぱり入っていた方が良いでしょう。レントゲンに関しても、わたくしも年間かなりの数の検査をやっておりますが、5000人から1000人に1人は、胸部レントゲン検査をやれば、肺がん、結核、あるいは一部の心臓の大きな病気が見つかることもあります。年1回のレントゲン検査は、私はもっとも非常に大事な検査だと思っております。国の指針からは外されてしまいました。でも、八王子市は、八王子市医師会の健診担当の先生、先輩方と八王子市との間で協議をさせていただいて、これらの検査に関しては事実上残すという形で、ずっと継続的にやらせていただい

2017年10月27日(金)

います。クレアチニンの検査は見直しが入って、必要だということ、来年から復活しますし、尿酸値の検査も実は昨年度から復活しております。そういう見直しが入ってきています。このような検査で見つけられるメタボリックシンドロームとは何なのか、本質は何なのかというと、生活習慣病の合併、特に糖尿病、コレステロール異常、高血圧に関しては、これらを合併することで心筋梗塞、脳梗塞のリスクに関して各段に飛躍的に上昇してしまします。例えばコレステロールの異常、高血圧がある方々は、心筋梗塞や脳梗塞を起こすリスクはない人に比べて3〜4倍程度上がると言われています。糖尿病によるリスクはもう少し高く、7〜8倍程度、これが重なって2つ3つとなると10〜20倍以上という試算が出ていますから、そのまま放置して合併してしまい、脳梗塞を起こすと、非常に高額な医療費がかかってしまいますので、財政負担につながっていきます。メタボリックシンドロームの判定には、腹囲が使われますが、男性がおへそ周りで85センチ以上、女性の場合は90センチ以上をメタボリックシンドロームの診断基準となつています。なぜこの数値が用いられたかと言いますと、内臓脂肪の量に着目して、この数値が取られ

ることになりました。CTでおなかを輪切りにした検査では、おへそのところの断面で、内臓脂肪の面積が100平方センチ以上の方が、将来心筋梗塞、脳梗塞を起こすということが知られていましたので、それを一番反映する検査が何かと調べたところ、腹囲が一番簡便に、それとパラレルになるということが分かったため、これが使われています。実際、高血圧、コレステロール異常、糖尿病は初期には症状がありません。しかし将来虚血性心疾患や脳血管障害、じん不全等の重篤な疾患を引き起こすことが問題で、これらが発症してしまえば、膨大な医療費がかかってしまいます。医療費における生活習慣病の割合は非常に高く、死亡原因の割合としても高いです。悪性新生物とはがんに代表される悪性腫瘍のことですが、これらが一部の生活習慣病により起こるものも知られていますので、統計に含まれています。実際は医療費の3割程度、死亡原因としては6割程度がこれらの生活習慣病に引き続いて起きてくる病気の原因として含まれています。特定健診は、そうなるという前にできるだけ早期に判定して、生活習慣の改善を促していくこととなります。ただ、考えるに、今の特定健診も様々な問題

点を含んでおります。受診率によつて、その経済効果もかなり変化してまいります。国が元々たてた受診率の目標は80%です。実際はどの程度の方が受けているかというと、八王子も含めて全国平均で50パーセント前後です。国は当初は80%の目標を掲げたんですが、あまりにも現実とかなり離れていたため、目標値は70%になっていつて、かなり頑張っている自治体、八王子市より小さい自治体ほど受診率をかなり高く持つていくことが可能で、啓もう活動するのでも簡単なんですが、できる限り高めようと自治体としては頑張っている最中です。ただ、実際は50パーセントになっている状態で、どの程度の効果が認められるかの結果はまだ出ていません。それからメタボリックシンドロームの意味なんですけど、実際に高血圧になつて、それが大本になつて心筋梗塞や脳梗塞を発症する際には、10年20年かかるわけです。判定基準の腹囲で引くからなければ、メタボリックシンドロームではないのですが、腹囲で測ることで、肥満しているかどうかを判断するのは果たして正しいのか、という問題があります。実際、肥満度と寿命を比べたデータがあります。もちろん非常に肥満している人、非常にやせている人の寿命は短いです。ただ中

間層の中でどこの寿命が長いかというと、実際はやや肥満に分類される、BMIでいうと25から30の間の人が寿命が一番長かったんです。これは肥満度だけではなく、そういう方たちの中には、経済的にも時間的にも恵まれている方が多くて、健診を早く受けて、ちゃんと早く見つけて早く治療すれば、長生きになるので、一概に肥満度との関係は言えないんですが、実際はそういうデータも出ておりますので、標準体重以上の人に介入して標準体重以下にすることが本来に良いことなのか、まだわからない状態です。

まとめさせていただくと、がんに限らず多くの疾患の中には、早期に見つけて手を打つことで、発症を抑制できる、あるいは重症化を抑制できるということがあります。もともと特定健診は高齢者の医療費を抑制するという目的から始まっているわけですが、お金だけの問題ではなくて、個人個人で考えてみると、受けるか受けないか、そのあときちんと見つかったものに対処するかでその後の生活が変わるかもしれない、すなわち人生にかかわるものと私は思っています。現行制度には様々な問題が含まれていて、たかが健診と思われる部分もありますが、健診で早期に見えればよかったという方がたくさんいらっしゃるのだと、されど健診と肝に銘じて、健康診断の受診のみならず、その後の精密検査、保健指導、治療を受けていただいて、皆さん健康で長生きできるようにしてください、ということ結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

御陵記念碑と参道の清掃活動

11月11日（土）晴天の中、多摩御陵参道の清掃活動を行いました。参道の入口には平成元年12月に当クラブで建立した「武蔵御陵墓地参道」の碑がございます。この清掃活動を通じてボランティアの原点が体感できたと思えました。打ち上げは中町の「やすらぎの湯」で行なわれました。参加された皆様、大変お疲れさまでした。





多摩南グループのインターシティミーティングが京王プラザホテルで開催された。11クラブから324名の参加があったと主催者の発表。第一部式典、第二部ディスカッション、第三部懇親会という流れで進行した。

第二部のディスカッションでは、「本音のロータリー」というタイトルで、ガバナー補佐・松本啓祐氏のコーディネートで、2750地区のバスターガバナー3名、坂本俊雄氏、新藤信之氏、水野功氏をパネリストに迎えて行われた。松本ガバナー補佐の「聞きたい意欲」を前面に出した問いかけに、3名のパネリストが情熱的に回答する形式で進んだ。しかし、壇上の4名ほどに、ロータリーの勉強もせず、のほほんとその日を生きている記事担当者（以下、記者と略す）にはとうてい理解できない事ばかりで、熱意を持って解説を下さるバスターガバナー諸氏には申し訳ないと思いつつ、集中力を欠いた聞き方となってしまった。方法論としての記者の考えであるが、せつかくガバナーエレクトの服部陽子氏がみえてるので、服部氏から今後のロータリーのあり方について、服部氏の感じている疑義や意見をバスターガバナーにぶつけ、それにバスターガバナーがアドバイスするというやり方もあったのではないかと思った。

過去に当クラブの理事会等でも、RⅠや地区とクラブの関係などが問題になった時もあつた。そういう場での結論は、クラブはクラブ、ロータリーはあくまでもクラブ主体でいかなければいけないというもの。今回のディスカッションでも、以前出てきたDLPやCLPなどがうまく機能しなかったということが取り上げられた。当クラブで掲げる「クラブ主体」ということが重要であることが改めて分かった。第二部の最後の方で、一般参加者からの意見が求められ、我がクラブの黒須会員が発言した。

「入会して30年目、入会当時は1業種1人ということと業界を代表して入会するという事で誇りに思い、感激もした。今は5人まで認められるようになり、会員増強ということに意識が偏り過ぎていたのではないかと感じている。DLP、CLPがうまく行かなかったという評価を聞いて得心がいった。RⅠ理事会や、規定審議会などで色々なことが決まるが、概ね緩くなっている。出席のことや入会金のことなど。緩くすることで確かに間口は広がった様に思えるが、そういったことが奉仕の意欲の低下を招いたりすることになりはしないか懸念される。バスターガバナーには、RⅠ地区（分区分）クラブという大きいフレームの

Intercity Meeting

パネリスト

坂本俊雄 '07-'08・'14-'15年
バスターガバナー
新藤信之 '08-'09年
バスターガバナー
水野 功 '15-'16年
バスターガバナー

コーディネーター 松本啓祐 ガバナー補佐

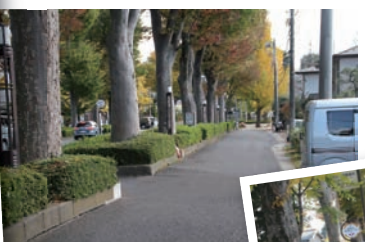


本音で発言する
黒須弘道会員

秩序が保たれるようにご支援を頂きたいと思う。」

この黒須会員の発言を聞いて初めて本日のテーマである「本音のロータリー」の核が見えた気がした。どういう問題が潜在的にあり、それを誰がどうやって解決していくのかという道筋を探ることが重要なのではないかと思った。そして、このような勇気ある発言をした黒須氏と同じクラブに所属していることを誇りに思い、氏に敬意を表します。

第三部は懇親会。「手に手つないで」を広い会場いっぱい使つて歌い、本年度の多摩南グループのIMは終了した。担当した小杉副幹事におかれましては、本当にお疲れ様でした。



お疲れ様でした。



45リットル袋で
75袋になりました。



社会奉

例会報告

第2485回 ● 2017・10・27 (金)

◇司会 山口会場監督補佐

◇開会点鐘 福山眞吾会長

◇Rソング 我らの生業

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告・ニコニコ発表

城所出席財務委員



出席報告・
ニコニコ発表
城所出席財務委員

会員108名中68名出席。
出席率68・69%。前回10月13日のメイクアップ相川会員外74名。前回10月6日の出席率74・75%を86・87%に修正。

◇会長挨拶 福山眞吾会長



会長挨拶
福山眞吾会長

*昨日は東京八王子RC、東京八王子東RC、東京八王子北RCでガバナー公式訪問があり、例会後の高尾山への正式参拝に東京八王子南RCと当クラブも参加してきました。帰りには50周年の際に設置した時計台をご覧いただきました。

*一昨日は土砂降りの中親睦

ゴルフコンペをいたしまして、原啓郎会員が優勝されました。

*毎年10月25日に大國魂神社では第二次世界大戦でフィリピン沖に沈没した軍艦「多摩」の慰霊祭をしているとの新聞記事を読み、猿渡ガバナーと話をしました。まだまだ戦争の影を引きずっていると感じました。

◇ポールハリスフェロー記念

バッツ等贈呈

2回目の寄付者

福山眞吾会長

山口覚会員、山田和夫会員、

神辺和幸会員、中村晋也会員、

羽田三根夫会員

1回目の寄付者

白柳雅文会員、小沢孝志会員、

鈴木雅徳会員、秋間正好会員、

榊田義久会員、高橋光康会員

◇幹事報告 橋本孝幹事



幹事報告
橋本孝幹事

*例会後4階「錦」でクラブ協議会リハールがあります。

*11/3は祝日休会です。祝日

なのでメイクアップはありません。

*11/9(木)はIMです。11

/10(金)は振替休会です。

メイクアップあります。

*11/11(土)御陵参道と碑の

清掃活動があります。

*ガバナー事務所よりR1会長のご意向に沿い、1人1本の木を植える活動に協力するよう依頼がありました。毎月ガバナー事務所へ報告が必要なので植えましたお知らせください。

◇委員会報告

親睦家族委員会

福田邦人副委員長

会員増強選考委員会

秋間勝仁委員長

社会奉仕委員会

平沼北斗副委員長

◇スピーカー紹介

小林潔正プログラム委員

スピーカー・鳥羽正浩会員

テーマ…たかが健診、されど健診

◇閉会点鐘 福山眞吾会長



● 2017・10・27 (金)

◇福山会長・たかが健診、されど健診

皆さんが健康でいられます様に鳥羽会員の卓話楽しみにしています。

◇橋本幹事・親睦旅行ありが

とうございました。鳥羽会

員卓話よろしくお願ひしま

す。

◇峰尾・不注意で約一ヶ月欠

席いたしました。

◇白柳・先日行なわれた弊社

創業30周年パーティではた

くさんの八王子西ロータリーの会員の皆様に出席をしていただき心より感謝申し上げます。また、祝電やお花をいただいた方々にも心より感謝申し上げます。お陰様で400名近くの方々に御出席をいただき無事に終わりました。心より感謝申し上げます。

◇田辺、野口・卓話拝聴させて

いただきます。

◇城所・結婚祝のお花ありが

とうございます。

◇伊藤・立花さん入会おめで

とうございます。

◇原啓二郎・親睦ゴルフコン

ペで優勝させていただきました。

◇加藤直也・鳥羽会員今日の

卓話よろしくお願ひします。

◇笠井・結婚記念日のお花を

いただきました。ありがと

うございます。

◇黒須隆一・結婚記念日のお

花を頂きました。

◇末木・今シーズンはキハダ

マグロを4本釣る事ができ

ました。海に感謝。

◇立花・先日は誕生日プレゼ

ントを頂きありがとうござ

いました。

◇鳥羽・本日、卓話にてお話

させていただきます。

(順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町 14 番 1 号
京王プラザホテル八王子 8F 〒192-0083
TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753
<http://www.hachioji-west-rc.org>

会長 福山 眞吾 幹事 橋本 孝
広報委員会 青木清治 浅川立憲 原 巖 土岐静雄
諸星宗幸 金子裕二 寺澤大介

優勝	原啓一郎
2位	野口文男
3位	市川 隆
4位	大田 薫
5位	塚本達二
6位	檜崎 博
7位	橋本 孝
8位	黒須隆一
9位	石森浩元
10位	三村裕介

親睦ゴルフコンペ
10月25日(水)オリムピックカントリークラブ(山梨県上野原市)にて第二回福山年度親睦ゴルフコンペが開催されました。雨の降る中とても寒い一日でしたが、無事プレーを楽しむことができました。パーティーは横山町の「BISTRO SAKABA デンズキッチン」でおこなわれ親睦を深めることができました。優勝は原啓一郎会員です。おめでとうございます。